

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 28 年度第 2 回弘前圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会
開 催 年 月 日	平成 29 年 1 月 12 日 (木)
開 始 ・ 終 了 時 刻	9 時 30 分 から 11 時 45 分 まで
開 催 場 所	弘前地区消防事務組合消防本部 3 階 大会議室
議 長 等 の 氏 名	北原 啓司
出 席 者	座長 北原 啓司 副座長 藤田俊彦 委員 石澤 誠 委員 南 直之進 委員 久保 順一 委員 加藤 尚徳 委員 大川 誠 委員 高野 悟 委員 對馬 省次 委員 永澤 俊之 委員 木村 玲子 委員 虎谷 誠二 委員 小野 正幸 委員 坂田 隆昭 委員 山中 俊彦 委員 石澤 美幸 委員 成田 志穂
欠 席 者	委員 吉原 則幸 委員 榎引 利貞 委員 齋藤 憲法
オ ブ ザ ー バ ー	青森県中南地域県民局地域連携部地域支援室長 美濃谷 邦康
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	ひろさき未来戦略研究センター副所長 森岡 欽吾 ひろさき未来戦略研究センター情報分析・行革・連携担当総括主幹 白戸 麻紀子 ひろさき未来戦略研究センター情報分析・行革・連携担当主事 下山 千嘉 ひろさき未来戦略研究センター情報分析・行革・連携担当主事 富田 正史
構 成 市 町 村 職 員 の 職 氏 名	黒石市 企画財政部企画課係長 藤本 洋平 平川市 企画財政課主事 土岐 千尋 藤崎町 企画財政課主査 石澤 妙子 板柳町 企画財政課課長補佐 芦田 信彦 大鰐町 企画観光課係長 長利 清永 田舎館村 企画観光課主幹兼企画係長 工藤 康人 西目屋村 総務課課長補佐 三上 学
連 携 施 策 担 当 課 職 員 の 職 氏 名	人材育成課主幹 一戸 拓利 人材育成課主事 加藤 秀治 防災安全課課長補佐 村元 広美 ひろさき未来戦略研究センター総括主幹 秋田 美織 情報システム課課長補佐 羽場 隆文 情報システム課主事 長尾 優子 市民協働政策課課長補佐 堀川 慎一 子育て支援課主幹 間山 博樹

	<p>健康づくり推進課係長 渋谷 輝之 農業政策課主査 竹谷 拓 産業育成課主査 尾崎 健一 産業育成課主事 猪股 豪 国際広域観光課課長補佐 石井 啓之 国際広域観光課主査 佐々木 伸也 都市政策課交通政策推進室室長 小山内 孝紀 都市政策課交通政策推進室主査 佐々木 真樹子 環境管理課主査 成田 一行 環境管理課主査 田中 孝二 学校づくり推進課総括主査 佐藤 由妃 学務健康課係長 西谷 智子 文化財課課長 三上 敏彦 文化財課課長補佐 工藤 雅人</p>
会議の議題	<p>(1) 第1回懇談会での意見に対する回答について (2) 第2次弘前圏域定住自立圏共生ビジョン素案 (3) 今後のスケジュール</p>
会議結果	<p>下記会議録のとおり</p>
会議資料の名称	<p>資料1 平成28年度第1回懇談会での意見に対する回答 資料2 第2次弘前圏域定住自立圏共生ビジョン素案(資料抜粋) 資料3 " (第III章 圏域の将来像抜粋) 資料4 " (第IV章 協定に基づき推進する具体的取組) 資料5 " 事業費一覧表 資料6 今後のスケジュール</p>

<p>会議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 第1回懇談会での意見に対する回答について (事務局) 第1回懇談会での意見に対する回答を説明。</p> <p>【主な質疑応答】</p> <p>(座長) “検討する”“協議する”となっているものについては、今後、委員に対して、検討・協議の結果を説明してほしい。</p> <p>(2) 第2次弘前圏域定住自立圏共生ビジョン素案 (事務局) 第2次弘前圏域定住自立圏共生ビジョン素案について説明。</p> <p>(委員) 新規事業について。 新たに取り組む事業としては婚活支援の推進ということでよいか。</p> <p>(事務局) 新たに取り組む事業は、婚活支援事業と休日および夜間における二次救急事業となる。</p> <p>(委員) 子育て支援の充実について。 今6歳まで医療費無料化されているが、父兄の負担軽減ということで、例えば小学校3年生まで無料化ができないか。また、ワクチン接種費用、ぜんそくなどの小児慢性疾患も父兄の負担となっており、費用の助成などを検討できないか。西目屋村までとは言わないが、圏域として無料化や助成を段階的に拡充できないか。</p> <p>(事務局) 担当課に伝える。</p> <p>(委員) 観光振興について。 国をあげてインバウンド対策を強化しているが、観光の指標について国内と国外からの観光客の目標値を分けて指標を設定してほしい。 また、他市町村との街歩きや大型クルーズ船からの誘致連携、北海道新幹線に関する北海道との連携などの詳細を事業に表示してほしい。</p> <p>(施策担当課)</p>
-------------------------------------	--

弘前市については市内の国外観光客の宿泊者数を把握しているが、圏域全体では把握していない。そのため、県で集計している観光入込客数を目標設定に利用している。

(座長)

データがないではなく、各構成市町村で連携して、事業の中で国内と国外からの観光客を把握できる仕組みづくりを行ってほしい。

(委員)

現在弘前市で実施している空き家・空き地バンクについて、広域化を図るべく協議を進めていくとあるが、資料等をみせてほしい。

(事務局)

本日、担当課がないため、次回懇談会で資料をお持ちする。

(委員)

広域で行った場合は、「弘前市とそれ以外での土地の動きが異なることで、その土地が売れるかどうか」「値付けがならない土地をどうするか」が課題である。

(副座長)

資料1の病児病後児保育について。

弘前市では2つの医療機関で病児保育を行っていると思うが、弘前市でも非常にニーズの高い事業である。弘前市以外の方がどれだけ利用できているのか、現在の構成市町村の利用状況を示してほしい。

また、石澤委員からもあったとおり、小児医療の負担軽減について圏域でも取り組むべきだと考える。

(施策担当課)

圏域での利用実績は次回までに準備する。

なお、病児保育について、医療機関2機関、認定こども園で2か所計4か所でおこなっている。インフルエンザの流行前ではあるが、病児保育は定員以上の申込、病後児保育はまだ空きがある状況である。需給バランスを見ながら、今後を検討していきたい。

小児医療の無料化の拡充については、億単位の費用を要することとなるため、国に対して制度化の働きかけをこれからも続けていく。

(座長)

先ほどの委員の意見も含めて、現状のデータがなければ判断ができない。正確にデータをつかみ、策を考えるというスタンスをとってほしい。合併ではなく圏域で取り組むのが、定住自立圏の考えである。小児医療の負担軽減についても、圏域内での標準化を検討してほしい。

(委員)

婚活支援の推進について。

婚活支援事業の目標であるカップリング件数とはどういうことか。

また、結婚に対する考え方が昔と変わってきている中で、行政が婚活支援を行う意義、そして効果があるのか、教えてほしい。

(施策担当課)

この事業は出会いの機会の創出を目的としている。そのため、カップリング件数とはお互いが連絡先を交換した件数としている。28年度の成果はお見合い数61件でカップリングが33件である。この事業がスタートして2年だが、成婚は4件となっている。この水準でのKPI設定をしている。

婚活支援を行う意義については、結婚するかしないかは個人の自由であるが、気運の醸成は図っていきたいと考えている。

(座長)

昔と価値観が違う時代に、行政がこれだけの費用をかけて婚活支援を行う妥当性について判断ができないため、次回まで今までの事業内容・費用の詳細を示してほしい。

(委員)

企業誘致活動の推進について。

企業誘致活動の推進におけるKPIがガイドブックの配布部数となっていることに違和感を感じる。目標は企業誘致件数を何件にするかにすべきだと考える。若い人の圏域外流出を防止するためにも、企業誘致は重要である。誘致企業へのインセンティブ提供の検討を含めて、目標をもう少し考えてほしい。

(施策担当課)

企業誘致件数については、基本目標に設定している。

ガイドブックは企業訪問や各種イベントで配布している。企業訪問については構成市町村では難しい場合もあるため、積極的にガイドブックを活用してほしいということでKPIに設定している。インセンティブについては、構成市町村が財政状況に応じて設定している。これからは現行制度にニーズがあるのかを見ながら、必要に応じてインセンティブの制度を検討していきたい。

(座長)

各事業におけるKPIの設定方法が統一されていない。

事務局の方でKPIの考え方・設定方法を統一してほしい。

(委員)

防災に関する地域連携強化について。

現状値について「十分に行われていない」とあるが、なぜ行われていないのか。目標値が平成33年度となっているが、防災は喫緊の課題である。また、備蓄体制の整備について、いざ災害のときに、物資があるところにはあり、ほしいところにはないといったことが熊本地震でもあった。いざというときにも柔軟に物資供給できる体制を構築

	<p>してほしい。</p> <p>(施策担当課)</p> <p>現状値には、手つかずになっている状態なので「十分に行われていない」とした。防災インフラの整備を県とも連携しながら行って、広域備蓄体制についても進めていきたいと考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>いままでのカップリングというイメージを変え、人が集まるイベントを考えてほしい。</p> <p>(座長)</p> <p>カップリングという表現はどうか。センターでの出会いの件数などであればまだわかる。少し検討してほしい。</p> <p>(今後のスケジュール)</p> <p>(事務局)</p> <p>資料6 弘前圏域定住自立圏ビジョン懇談会における今後のスケジュールに基づいて、今後のスケジュールを説明。</p> <p>3. 閉会</p>
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議は公開である。 ・傍聴者数 2名